

「第 29 回東砂スポーツセンター小学生スーパードッジボール大会」

組合せ等の考え方につきまして

第 29 回東砂スポーツセンター小学生スーパードッジボール大会にお申込みいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より大会運営へのご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今大会の組合せの考え方についてお知らせしたく、短くまとめておりますので、ご一読いただけますと幸いです。

今大会には、3 年生 6 チーム、4 年生 10 チーム、5 年生 9 チーム、6 年生 6 チームのお申込みをいただきました。

センターとして、まず何より大切にしたのは、「これまで一生懸命練習をしてきた子どもたちに、できるだけ多くの試合を楽しんでほしい」という思いでした。通常であれば 3 で割り切れるチーム数の場合、3 チームの予選リーグとするところですが、その場合、2 試合で終わってしまうチームが多くなるため、最低でも 3 試合はできるよう、次のような形式といたしました。また、多くの試合を行うために 4 分前後半としました。

＜今大会の形式＞ 3 年生：6 チームによる総当たり戦

4 年生：5 チーム×2 リーグの予選リーグ

→ 各リーグ上位 2 チームによる決勝トーナメント

5 年生：5 チームと 4 チームの予選リーグ

→ 各リーグ上位 2 チームによる決勝トーナメント

6 年生：6 チームによる総当たり戦

特に 5 年生では、リーグによって試合数が「4 試合」「3 試合」と差が出てしまうことから、平等性についても慎重に議論しました。しかしながら、3 チームの 3 リーグ制にした場合は、試合は 2 回だけになってしまうこと、決勝に進めるチームが 3 チームのみになること、また決勝をリーグ戦にした場合は、他学年と形式が揃わないことなど、すべてを完全に揃えることが難しいという結論に至りました。

今大会では以上のような考え方で組合せを作成しております。ご意見もあるかと思いますが、趣旨をご理解いただけますと大変ありがたく存じます。各予選リーグのチームについては、センターにおける責任抽選にて決定させていただいたところです。

なお、来年度以降は、引率者の方々による抽選会の実施など、よりわかりやすく参加しやすい方法も検討してまいりたいと考えております。

今後とも、子どもたちの頑張りを皆さまと一緒に応援できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。